

# 京都府生涯現役クリエイティブセンター リカレント研修 シラバス

令和4年6月～開講分

受講無料

## 研修プログラム

### 共通 キャリアの振り返り研修

京都産業を牽引する人材の育成

1 経営マネジメント力養成コース

2 新分野挑戦コース

3 MBA体験コース

4 ベンチャー育成コース

地域課題解決の担い手の育成

5 地域・社会貢献人材育成コース

6 農業人材育成コース

7 福祉人材育成コース

# 京都府生涯現役クリエイティブセンター リカレント研修プログラム

## 令和4年度リカレント研修プログラム

### キャリアの振り返り研修

### 分野別研修

#### 京都産業を牽引する 人材の育成

自社内でのスキルアップを目指す

##### 1.経営マネジメント力養成コース

新たな環境での活躍を目指す

##### 2.新分野挑戦コース

新たな環境での活躍を目指す

##### 3.MBA体験コース

起業を目指す

##### 4.ベンチャー育成コース

#### 地域課題解決の 担い手の育成

地域における人手不足分野での活躍を目指す

##### 5.地域・社会貢献人材育成コース

農業分野での活躍を目指す

##### 6.農業人材育成コース

介護分野での活躍を目指す

##### 7.福祉人材育成コース

## 受講者の声



研修受講後は経営やリーダーシップについて理解が深まり、確実に自己成長したと  
感じている。(40代 製造業)



研修で学んだことを地域や職場で  
活かしていきたい。(50代 製造業)



業種、会社規模等が異なる意識の高い受講生たちと  
一緒に学ぶことで、良い刺激になった。  
(60代 情報・通信業)



講師やゲストスピーカーのお話が  
素晴らしく、期待をはるかに超える  
非常に質の高い研修だった。  
(50代 教育研究職)



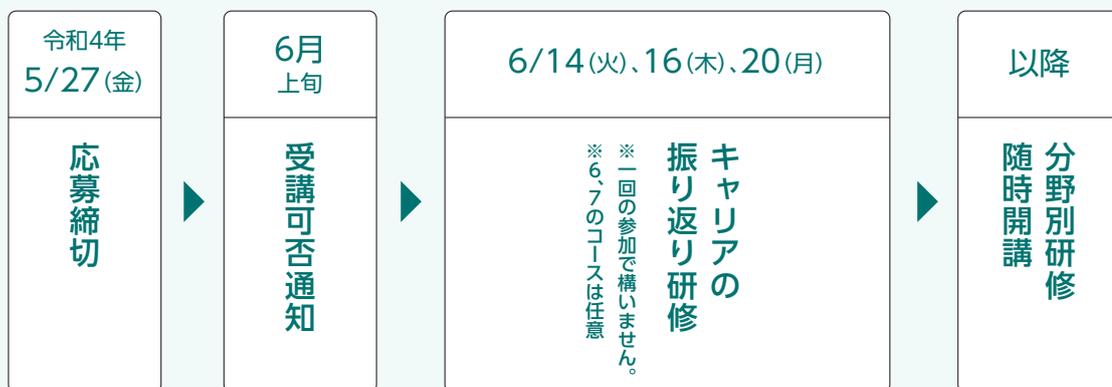
研修を通じてキャリアの選択肢が  
増えたので、定年退職後、  
第2の人生についてじっくり  
考えていきたい。(50代 製造業)

## 修了証について

リカレント研修を受講された方のうち一定の条件を満たした方に、  
京都府知事とセンター長の連名による修了証を発行します。



## 受講のフロー



## 申し込み方法

右記QRよりお申し込みください。

申し込み期限：令和4年5月27日(金)

受講可否通知を6月上旬までにメールでお送りします。

※応募者多数の場合は抽選となる場合があります

京都府生涯現役クリエイティブセンター

TEL: 075-741-8600



申し込みフォーム

[https://recurrent-kyoto.com/  
recurrent-training-form/](https://recurrent-kyoto.com/recurrent-training-form/)

# キャリアの振り返り研修

## 講話



京都府生涯現役  
クリエイティブセンター  
センター長

小畑 英明 氏



京都府生涯現役  
クリエイティブセンター  
副センター長

廣岡 和晃 氏



龍谷大学  
政策学部教授

中森 孝文 氏

## 研修講師

株式会社インソース 松本 朗 氏

## 受講対象

- ・分野別研修受講者は原則必須受講となります。（「農業人材育成コース」「福祉人材育成コース」は任意）
- ・分野別研修受講者以外でも受講可能です。

## 研修趣旨・受講目的

「キャリアの振り返り研修」は、新たな一歩を踏み出す土台として、これまでに培ってこられた自身のキャリアや強みを振り返っていただくものです。本研修を通じて客観的に自己理解を深めていただいた上で分野別研修を受講することにより、さらに深い学びへとつなげます。

## このコースを通じて身に付けられる能力・知識・技術・技能

自己に対する客観的な分析や、キャリア観の育成を通じて学び直しの意欲を高めます。

	日 時	講 話	研 修	場 所
これまでの振り返り参加ください。	京都市内 6月16日(木) 13:00-17:00	小畑 センター長	人生100年時代をどのように生きていくかということ を念頭に置き、これまでの自身のキャリアや強みを振り返 るとともに、これからのキャリアについても考える機会 としていただきます。 ◎自己を理解する ◎これからを考える	京都経済 センター
	京都市内 6月20日(月) 13:00-17:00	中森教授		京都経済 センター
	綾部市 6月14日(火) 13:00-17:00	廣岡 副センター長	株式会社インソース 松本 朗氏 *講義、個人ワーク、グループワークを実施	北部産業 創造センター

## 定員

各回30名

# 1.経営マネジメント力養成コース

## 研修講師



龍谷大学  
政策学部教授

中森 孝文 氏



公認会計士

安藤 亮史 氏

## 研修趣旨・受講目的

本研修では、企業の競争力の源泉(強み)の眺め方を、マーケティング、マネジメント、ファイナンス・アカウンティングの視点から学び、強みの維持・強化・活用のストーリーを作成します。当該ストーリーの作成を通じて、会社の強みと自身の強みがどのように影響しているのかに気づき、今後の強み活用ストーリーへの自身の貢献に関するキャリアプランを描くことを目的とします。

## 求める受講生

自身の会社の強みを俯瞰的に捉えて、将来会社の中核的な人材として活躍を目指す、やる気ある方の参加を期待します。

## このコースを通じて身に付けられる能力・知識・技術・技能

自社の強みの理解と、財務の基本的な仕組みに対する知識や、その知識を活用した課題解決能力の習得が見込まれます。

	日 時	内 容	場 所
1	6月27日(月) 13:30-16:45	オリエンテーション (強みの眺め方とワークショップ:マーケティングの視点から)	京都経済センター
2	7月11日(月) 13:30-16:45	自社の強みの成り立ちを分析する (宿題発表:自社の強み、強みの成り立ちを考える/ワークショップ:マネジメントの視点から)	京都経済センター
3	8月1日(月) 13:30-16:45	自社の課題と解決法 (宿題発表:自社の強みの成り立ち、課題解決法を考える/ワークショップ:マーケティングとマネジメントの視点から)	京都経済センター
4	8月29日(月) 13:30-16:45	財務の理解と自社財務分析 (財務の基本的な仕組みを理解したうえで、自社の財務を分析する)	京都経済センター
5	9月12日(月) 13:30-16:45	課題解決策が財務に与える影響を理解する (課題解決策が自社の損益及び資金に与える動きを理解し、財務的裏付けをする)	京都経済センター
6	10月3日(月) 9:30-16:45	成果発表 自社の強みの維持・強化・活用のストーリーと、それに貢献する自身のキャリアプランを発表する(ストーリーには、マーケティング、マネジメント、ファイナンス・アカウンティングの視点から裏付けし、説得力のあるストーリーを作成する)	京都経済センター
事前知っておくべき内容・学習文献等		自社の歴史、文化、事業の強み、人事戦略、財務について、一通り眺めておくことが望ましいです。知識よりも研修参加への真摯な姿勢を求めます。	

## このコースで目指す姿・修了後のあり方

自社の強み(特に可視化が難しい無形の強み)に気づき、それを活用して付加価値に変えることができる能力を修得し、社内で経営者を支える強みのマネジメントができる人材となることを目指します。

## 定員

15名

## 2.新分野挑戦コース

### 研修講師



京都産業大学  
経営学部 准教授

伊吹 勇亮 氏

### 協力企業



二九精密機械  
工業株式会社

### 研修趣旨・受講目的

キャリアの振り返り研修を経て自身のエンプロイヤービリティについて確固たる認識を持った方を対象に、実際に中小企業が抱えている課題を解決することを通じて、自身がこれまで培ってきた知識や能力が異なるシチュエーションにおいても発揮できるようになることを目指します。受講者(5人程度)がチームで解決策の検討に取り組みます(研修日は講師や課題提供企業を交えての議論を中心とし、その他の時間にチームで主体的に活動を進めていただきます)。

### 求める受講生

中小企業の抱える課題を現場目線で解決する力を身に付け、新たな分野への挑戦を目指す方の参加を期待します。

### このコースを通じて身に付けられる能力・知識・技術・技能

中小企業の課題解決を通じて、自身がこれまで培ってきた知識や能力が異なるシチュエーションにおいても発揮できるようになることが見込まれます。

	日 時	内 容	場 所
1	7月21日(木) 13:30-16:45	<b>オリエンテーション</b> ・課題解決型学習(PBL)の概要ならびに研修の進め方の説明 ・受講生自己紹介、チーム分け ・課題テーマ提示(課題提供企業からのプレゼン)	京都経済センター
2	8月ごろ	<b>企業訪問</b> ・課題提供企業の現場訪問、現場視察ならびに担当者との意見交換 ・解決に向けた方向性議論	協力企業 (現地観察)
3	9月15日(木) 13:30-16:45	<b>中間フォロー①</b> ・担当講師が進捗状況に応じてアドバイス ・解決策検討に必要な知識やスキルを担当講師からレクチャー	京都経済センター
4	10月20日(木) 13:30-16:45	<b>中間発表</b> ・受講者、講師、課題提供企業での中間確認	京都経済センター
5	11月17日(木) 13:30-16:45	<b>中間フォロー②</b> ・担当講師が進捗状況に応じてアドバイス ・解決策検討に必要な知識やスキルを担当講師からレクチャー	京都経済センター
6	12月15日(木) 13:30-16:45	<b>成果発表</b> ・課題に対する解決策を発表	京都経済センター
<b>事前知っておくべき内容・学習文献等</b>		キャリアの振り返り研修を通じて自身の持つ知識・スキル・能力の棚卸しを事前実施しておいてください。	

### このコースで目指す姿・修了後のあり方

人生100年時代において、どのような場面においてもこれまでの経験を活かして活躍することができるようになることを目指します。

**定員** 15名

## 3.MBA体験コース ～新事業創造の基礎知識マスター講座～

### 研修講師

同志社大学大学院ビジネス研究科



教授



教授



教授

児玉 俊洋氏 井上 福子氏 野瀬 義明氏

### 研修趣旨・受講目的

本研修では、企業内において新規事業の開発を担当する方や起業を検討・準備している方を対象として、新事業の開発プロセス・構想方法、プロジェクト成功に必要なリーダーシップ・ファイナンスの知識について基礎を学びます。最終日には、各自の新事業イメージを資料にまとめた上でプレゼンテーションを行っていただきます。

### 求める受講生

企業内において新規事業の開発を担当する方や、起業を検討・準備している方で、計画力、人をまとめる能力、計数力の基礎を身に付けたい方の参加を期待します。

### このコースを通じて身に付けられる能力・知識・技術・技能

新事業を創造し実践に移すために必要な計画力、人をまとめる能力、計数力の基礎の習得が見込めます。最終日のプレゼンテーションを通じて、アウトプット能力も磨かれます。

	日時	内容	講師	場所
1	8月13日(土) 14:55-18:10	オリエンテーション 受講者プレゼン(自己紹介) 新事業創造に必要なこと	全講師	京都経済センター
2	8月20日(土) 14:55-18:10	どのような事業を行うか?	児玉先生	京都経済センター
3	8月27日(土) 14:55-18:10	リーダーシップを磨く	井上先生	同志社大学寒梅館
4	9月17日(土) 14:55-18:10	ファイナンスに強くなる ※ノートPCの持参が必要となります。	野瀬先生	同志社大学寒梅館
5	9月24日(土) 14:55-18:10	新事業レポートの発表とディスカッション	全講師	同志社大学寒梅館

### 事前に知っておくべき内容・学習文献等

関連図書や事前課題は改めて受講者へ通知します。教材費として数千円程度の出費を見込んでください。

### このコースで目指す姿・修了後のあり方

新事業の構想がより具現化して、実際の事業展開や更なる学習の深化につながる方が一人でも多く現れることを期待します。

### 定員

15名

# 4.ベンチャー育成コース

## ステイ・スモール起業講座

会社は小さいほどうまくいく～人生100年時代の仕事づくり

### 研修講師



京都大学産官学連携本部  
IMS起業・教育部特定教授

木谷 哲夫 氏



ベンチャーキャピタリスト  
京都大学産官学連携フェロー

古我 知史 氏



kashinoki 代表  
京都大学産官学連携本部  
IMS起業・教育部 特任准教授

真鍋 希代嗣 氏

### 研修趣旨・受講目的

生活産業、サービス産業、食、農、社会起業等の分野を重視し、個人のライフサイクルに合った形で、サラリーマンの副業や定年後の仕事づくり、女性の起業をターゲットにした無理な成長を追わない、身の丈に合ったリスクの低い起業を目指します。

### 求める受講生

仕事をしながら何か自分で事業を始めたい方の参加をお待ちしています。

### このコースを通じて身に付けられる能力・知識・技術・技能

起業に向けたアイデア創出の方法、外部リソースの知識やビジネスモデルのブラッシュアップ方法などの習得が見込まれます。

	日 時	内 容	講 師	場 所
1	11月1日(火) 18:00-20:30	Stay Small起業の考え方を身に付ける ・会社は小さいほどうまくいく ・規模拡大を追わず、リスクを下げるビジネスとは ・自分に合った起業のスタイルとは何かを考える ・すぐに使える外部のリソース紹介 ・アイデア創出の方法、宿題	木谷先生	京都経済センター
2	11月15日(火) 18:00-20:30	Stay Small起業のアイデア創出 ・アイデア発表、意見交換 ・ベンチャーキャピタリストによる着眼セッション・ 模倣に基づくビジネス ・日常からの着眼 ・人のやりたがらないことをやるビジネス、等	木谷先生 古我先生	京都経済センター
3	11月29日(火) 18:00-20:30	サービス産業のアイデア創出 ・社会起業について講義 ・社会起業アイデア紹介 ・ビジネスモデル、顧客ニーズの確認方法講義 ・グループ討議 ・アイデアブラッシュアップ	木谷先生 真鍋先生	京都経済センター
4	12月13日(火) 18:00-20:30	アイデアブラッシュアップ ・ビジネスモデル発表、メンタリング	木谷先生	京都経済センター
5	12月27日(火) 18:00-20:30	アイデア発表 ・アイデア発表、フィードバック ・終了後意見交換会(希望者のみ)	木谷先生	京都経済センター

### このコースで目指す姿・修了後のあり方

無理な成長を追わない、身の丈に合ったリスクの低い起業を目指します。

### 定員

15名

## 5.地域・社会貢献人材育成コース

### 研修講師



京都府立大学 公共政策学部  
公共政策学科 教授

**桂 明宏 氏**



京都府立大学 公共政策学部  
福祉社会学科 教授

**中村 佐織 氏**

京都府立大学 公共政策学部  
福祉社会学科 准教授

**朝田 佳尚 氏**

京都府立大学 公共政策学部  
福祉社会学科 准教授

**山口 敬子 氏** 他1名

### 研修趣旨・受講目的

少子高齢化が加速する状況の中で、自身の職場だけでなく、地域に生活する住民の一人として地域を理解し、地域を活性化させる一翼を担う人材を育成します。

### 求める受講生

地域の活性化や社会貢献活動に関心があり、本コースを通じて得た知識・多様性への理解を職場や地域で実践していきたい方の参加を期待します。

### このコースを通じて身に付けられる能力・知識・技術・技能

職場や地域で多様な人を理解する広い視点を得るとともに、具体的に地域で活動できる方法や役割を獲得する方法を理解します。

- ①職場に勤めながら、地域貢献できる高齢者、児童、障害者などの「見守り」に関するボランティア活動（そのための養成講座に結びつける方法）
- ②退職後のゆとりある地域生活と地域活動参加への導きの方法

	日 時	内 容	講 師
1	7月1日(金) 14:00-16:00	<b>地域を取り巻く社会情勢</b> 人口減少や少子高齢化、市民参加など地域を取り巻く社会情勢を理解し、住民として取り組むべき課題や役割を整理する。	公共政策学科 教員
2	7月13日(水) 14:00-16:30	<b>地域課題とその変化を促す活動事例</b> 第1回の統計や資料を中心とした地域の実情理解をふまえ、第2回では高齢、児童、障害に関連する実践事例から地域課題の現実と対応する活動を理解する。	福祉社会学科 朝田先生
3	7月27日(水) 14:00-16:30	<b>地域貢献可能な資格等の確認と活動の可能性</b> 地域でのボランティア活動やそれに関連する資格等について理解し、地域における活動の実践例を知ることで、地域参加（地域のさまざまな福祉問題に対する具体的にかかわること）の方法について考えていく。	福祉社会学科 山口先生
4	7月下旬～ 8月上旬の土日 終日	<b>農山村へのUターンを考える</b> 定年後にふるさとの農山村にUターンをする人やUターンで田舎暮らしを始める人が増えている。農山村で生活することの楽しみ・生き甲斐とともに、農山村社会で暮らしていく際の注意点を先輩移住者の方からお聞きし、自己実現をはかりながら農山村の地域社会で摩擦なく暮らしていく方法を考える。	公共政策学科 桂先生
5	8月24日(水) 14:00-16:00	<b>総括</b> グループワーク等によるまとめ（地域貢献の課題と自身の役割）さらにはボランティアを意識して資格取得の挑戦への方向づけなどを確認し、明日から地域貢献を可能にする。	福祉社会学科 中村先生

**研修会場** 京都経済センター（一部課外実習あり）

### このコースで目指す姿・修了後のあり方

研修受講後からの人への理解、さらには職場や地域のなかでの人権を意識した地域社会貢献活動を可能にします。

**定員** 15名

## 6. 農業人材育成コース

※部分参加可能です。

### 研修講師

農家、農業法人、農業大学校 等

### 研修趣旨・受講目的

農業で生計を立てることを目指す方に対して、各種研修メニューを提供し、農業法人で農作業の支援や経営改善に寄与する人材から、自立的な農業経営者まで、広く農業に従事する人材を育成します。

\*研修は希望に合わせて選択制となります。



### 求める受講生

農業法人への就業や自立的な農業経営を目指している方からの参加を期待します。

### このコースを通じて身に付けられる能力・知識・技術・技能

農業に必要な知識や技能（農作業の流れや栽培技術、農業機械の操作方法等）や農業経営の基本的な知識などの習得が見込まれます。

	内 容	参加費	場 所
就農相談会	開催期間:夏～冬(年4回程度) 希望に応じて、研修や就農支援制度等を紹介する相談会を実施します。	無料	京都市内他
農業体験	開催期間:随時(1～3日間) 農作業の流れや機械の扱い方について、農家からレクチャーを受けます。	無料	受入先農家
インターンシップ	開催期間:随時(1ヶ月(最大6ヶ月)) 各地域の農業法人等でのOJT研修を通じ、農業に必要な知識、技能を習得します。	アルバイト雇用 (短期雇用) 形態による研修	受入先農家
就農ステップイン講座	開催期間:8～11月頃(全5回) 講義や野菜栽培の実習、就農者との座談会を通じて、栽培技術や農業機械の操作方法等を学びます。	無料 (保険料等として1000円)	農業大学校 (綾部市)
農業経営力向上講座	開催期間:1～2月頃(全4回程度) 農業経営の基本的な知識を学習します。	無料	オンライン 他

### このコースで目指す姿・修了後のあり方

農業に必要な知識や技能を習得していただき、農業法人への就業や自立的な農業経営など、農業の担い手として活躍していただくことを期待しています。

### 備考

本コースに関心のある方は、京都府生涯現役クリエイティブセンターに一度ご連絡ください。  
(それぞれに合ったメニューや関係機関をご紹介します)

## 7.福祉人材育成コース

### 研修講師

### 京都府介護福祉士会

### 研修趣旨・受講目的

介護人材のすそ野を広げ、福祉・介護サービス事業や地域活動を支える人材を育成することを目的として、日常に役立つ介護の知識、介護職として必要となる基本的な介護の知識・技術の実践的手法等を学びます。

※本コースは、京都府と開催地市町(向日市)との共催で実施します。



### 求める受講生

福祉、介護サービス事業への従事を目指している方からの受講を期待します。

### このコースを通じて身に付けられる能力・知識・技術・技能

日常に役立つ介護の知識、介護職として必要な基本的な介護の知識・技術の実践的な手法等(国が定める「介護に関する入門的研修」)が習得できます。

	内 容	場 所
1	介護に関する相談先や介護保険制度、介護予防等に関する知識を学習する。	向日市
2	介護技術の基本を学習するほか、老化について理解を深める。	向日市
3	障がいや認知症に対する基本的な知識、関わり方を学習する。	向日市
4	事故や感染症対策・対応等介護における安全確保について理解する。 ※修了証授与、京都府福祉人材・研修センターの紹介含む	向日市

### このコースで目指す姿・修了後のあり方

介護の仕事に携わっていただいたり、地域の福祉ボランティアにかかわっていただくなど地域の福祉の担い手としての活躍を期待します。

### 備考

本コースに関心のある方は、京都府生涯現役クリエイティブセンターに一度ご連絡ください。

## 京都府生涯現役クリエイティブセンター

京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地 京都経済センター 3階

TEL: 075-741-8600

FAX: 075-741-8603

✉ info@recurrent-kyoto.com

営業時間 / 火曜日～金曜日: 午前9時～午後7時  
月曜日・土曜日: 午前9時～午後5時

ホームページは  
こちらから  
アクセス



### アクセス

- ・京都市営地下鉄烏丸線「四条駅」北改札出てすぐ
- ・阪急電車京都線「烏丸駅」26番出口直結
- ・京都市営バス「四条烏丸」徒歩すぐ

### リカレント研修の詳細情報

下記QRよりお申し込みください。

申し込み期限: **令和4年5月27日(金)**

<https://recurrent-kyoto.com/training/#training>

受講可否通知を6月上旬までにメールでお送りします。

※応募者多数の場合は抽選となる場合があります



### 京都経済センター3階 フロアガイド

